

活動名：第8回福島民報杯スポ少サッカー岩根大会 U10

日程：令和2年9月12日（土）

会場：本宮総合運動公園

参加：4年9名+3年4名 計13名

帯同：設楽・貝和コーチ

結果：予選リーグ（3チーム）

VS 安積第三 5：1

VS 本宮 5：0

決勝戦

VS 行健 3：6

準優勝／6チーム中

報告：設楽

毎年、岩根 SSS さんからお誘いをいただき出場している大会ですが、U10（4年生以下）の部に、アーレ3・4年生チームを結成し帯同しました。

今年の4年生以下はコロナ禍で今まで開催されていた大会が中止となり、富田ファミリーカップに続く2大会目の貴重な公式大会でした。

3年生はアーレ練習着でしたが、4年生たちは全員アーレユニフォームを所持してくれたので、クラブ備品のユニフォームは着用しないで出場しました。

ユニフォーム姿はアーレカラーをまとい17年のアーレの歴史を感じる勇ましい姿に見えますね。



さて、大会の内容ですが・・・

予選リーグはもっと得点できる機会がありましたが、順当に勝利することができました。前半は4年生チーム、後半は4年生に加え4名の三年生のメンバー構成でいきました。4年生が前半で勝負を決める得点をあげてもらい三年生に繋げるイメージでした。

結果もそのとおりになり決勝戦へ進出できました。このままの勢いで決勝も危なげなく勝利できるような気でいましたが、決勝の相手であった行健 SSS さんはフィジカルも強く、元気もあり、チームとしての戦う戦術をもっていたので、前半からその勢いにやられ大量失点5点を失い、勝利は前半で厳しい状況でした。

前半のメンバーは予選リーグで自分のプレーをしっかりと見せてくれた3、4年生で構成したメンバーでしたが、やはり3年生は相手のフィジカルの強さやスピードについていけることができず、てんてこ舞いになってしまったので、前半ベンチの4年生と途中で交替しました。しかし、その勢いを止めることができず、後半は4点差を追いかけて2点を奪い2点差に詰め寄りましたが、最後は失点してしまい大量失点となり、完敗で準優勝の結果でした。

選手たちは試合後に悔しさのあまり涙が止まりませんでした。泣くほどの悔しさを経験でき、さらに自分のサッカー技術を磨かないといけないことを感じてくれる機会となって、この年代として私は良かったと思います。そこで、試合での課題が新たに見えてきたので、今年は大島小学校での特練も始まり、「球際の強さ」、「一発で当たらないボールの奪い方」、「ボールを奪う身体の入力方」、「ボールをもらう受け方（駆け引き）」などを伝えていきたいと思います。

しかし、Jクラスとは違い、団子サッカーにならずに自分のポジションを役割分担してこなすことができるようになってきたので試合らしくなってきました。

3年生たちはやはり4年生と比べても身体の成長も違い、1学年上の大会（U10）では思ったようにプレーできませんが、U10の大会に参加できたことで刺激になったと思います。

まだまだ伸び盛りの年代なので今後の成長が楽しみです。この年代で負けた相手には6年生になった時に絶対勝てるように個々に目標をもって練習して欲しいと願います。

天候の悪い中、保護者の皆様にはお子様の送迎と応援をありがとうございました。子どもはいろんな経験をさせてあげないと心身の健康は保てませんので、アーレの活動に今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

岩根 SSS さん、他大会関係者の皆様、素晴らしい運営の中、子どもたちがのびのびとプレーできましたこと感謝いたします。

コーチ：設楽

